

4月「19の日」行動

ウクライナ侵略を利用した改憲策動を止めよ！
市民と立憲野党は共同して憲法を守り生かそう！

岸田政権は維新の会・国民民主党などととも、憲法審査会を開催し国会の開催要件の法解釈を答申しました。これでは審査会が憲法解釈を自由に変更されることとなります。さらにロシアのウクライナ侵略を利用して、核兵器の威嚇の協力や所持をし、さらに他国を攻撃可能な自衛隊にしようとしています。被爆国日本が核武装や核による他国への威嚇をするなど許されません。一旦核兵器を使用すれば双方の国民も国土も壊滅的な打撃をこうむることになります。



これまでも改憲勢力で国会の多数を握る事が在りましたが、世論と市民の運動が、立憲野党と共闘し、政治の暴走を阻んできました。今こそ、他国への武力攻撃を可能にするような、9条改憲を許さない国民世論を高めることが求められます。

また、コロナの感染爆発による医療崩壊、自宅療養という名の治療や生活支援の放棄は、自公政権による「人災」です。公的機能の縮小や閉鎖が困難を拡大しています。このような時に莫大な軍事費による大軍拡はゆるされません。憲法にもとづく命と暮らしを第一にする政治への転換こそが必要です。

新たに提起された、「改憲に反対し市民の命と生活を守るための新署名」の取り組みを進め、多くの市民との対話を進めましょう。

とき **4月19日(火)**

午後6時30分～ 街頭演説

7時00分～ デモ出発(開催予定)

ところ 京都市役所前(御池通側歩道)

呼びかけ 戦争をさせない京都1000人委員会